

令和5年度 第1回防府市観光振興推進協議会  
議事録等

□開催日時

令和5年11月9日(木) 午後3時00分から午後4時30分

□場所

防府市役所4号館3階会議室

□次第・議事

次第

- 1 開会
- 2 委員紹介
- 3 議事
  - (1) 第3次防府市観光振興基本計画について
  - (2) 令和5年度上半期の主な取り組みについて
  - (3) その他
- 4 閉会

□配布資料

- 資料1 第3次防府市観光振興基本計画について  
資料2 令和5年度上半期の主な取り組みについて  
資料3 「トワイライトエクスプレス瑞風」新たな立ち寄り観光地について

□報道

なし

□傍聴人

なし

## 出席者名簿

敬称略・順不同

	区 分	委 員 名	所 属	出欠
1	学識経験	会長 加藤 真也	山口大学経済学部 准教授	出席
2	観光関係団体	松田 和彦	防府商工会議所 専務理事	出席
3	観光関係団体	中司 達美	(一社)防府観光コンベンション協会 副会長	出席
4	観光関係団体	宇野 好一	防府観光物産協会 会長	出席
5	観光関係団体	種田 正幸	天神町銀座商店街振興組合 理事長	出席
6	行政関係機関	吉谷 由紀恵	(一社)山口県観光連盟 ゼネラルマネージャー	出席
7	市民（一般公募）	田中 元昭		出席
8	市民（一般公募）	西村 和能		出席
9	市民活動団体	京井 和子	特定非営利活動法人 市民活動さぼーとねっと	出席
10	観光関連事業者 (旅行業者)	丹 康二	(株) J T B 山口支店 支店長	欠席
11	観光関連事業者 (産業観光関係者)	田中 真二	マツダ (株) 防府工場 総務部長	出席
事務局		杉江 純一	文化スポーツ観光交流部 部長	
		瀬川 博巳	文化スポーツ観光交流部 部次長	
		福谷 英樹	文化スポーツ観光交流部 観光振興課 課長	
		藤本 奉文	文化スポーツ観光交流部 観光振興課 課長補佐	
		村田 智生	文化スポーツ観光交流部長 観光振興課 観光振興係長	
		酒井 孝子	文化スポーツ観光交流部長 観光振興課 施設係長	

議事概要	
<p><b>1 開会</b></p> <p>(委員紹介)</p> <p>(会議公開)</p>	<p>事務局より開会の宣言</p> <p>出席者名簿により紹介。 委員変更について、平井委員に代わり、京井和子委員が就任された。 また、広政委員に代わり、田中真二委員が就任された。</p> <p>会議の公開について 意義なし</p>
<p><b>2 議事</b></p> <p>(会長)</p> <p>(事務局)</p> <p>(会長)</p> <p>(事務局)</p>	<p>本日の議案について、事務局からの説明後、意見交換を行う。 事務局から説明をお願いします。</p> <p>議題（１）第３次防府市観光振興基本計画について ・新委員の就任もあったことから、振り返りも踏まえ、資料１「第３次防府市観光振興基本計画について」により説明</p> <p>議題（２）令和５年度上半期の主な取り組みについて ・資料２「令和５年度上半期の主な取り組みについて」により説明 ・併せて、トピックである瑞風の立ち寄りについて、資料３「「トワイライトエクスプレス瑞風」新たな立ち寄り観光地について」により説明</p> <p>観光振興基本計画については今年が中間年となっている。防府市総合計画との整合性も踏まえながら、次期計画の策定を見据える時期となってきた。また、コロナ禍があげ、観光需要が大幅に増大する中、様々な分野に置いて積極的に事業を進められている。 今後は瑞風の立ち寄りも追い風になるものと思われ期待している。 皆様からご意見をいただく前に、事務局にお伺いしたい。</p> <p>上半期は非常に多くのことを取り組まれているが、特に赤い風船のような防府の観光を促すようなパンフレットを大阪駅などに置いていることには驚きを覚えた。 少し細かい事を聞くが、資料１の認知度向上とKPIに関する記述について、分母は全市町村１，７００という理解でよろしいか。また、この調査の主体はどこか。また、観光見込み客数、観光消費額に関しては防府市役所側でアンケートをとられたのか。</p> <p>分母は東京特別区、政令指定都市を含めた全市に加え、調査を希望した市町村で１，１００前後。認知度向上調査は、ブランド総合研究所が実施。入り込み客数については、市で主要な観光施設の所有者や、イベントの主</p>

	<p>催者に調査を行い集計した数値。消費額はWebアンケート調査で収集。</p>
(会長)	<p>それでは、委員の皆様から意見を願います。</p>
(A委員)	<p>第三次観光振興基本計画の観光地、食、おもてなしの3本の矢のうち、食とおもてなしの内容を教えてください。</p>
(事務局)	<p>食については、本市特産の食材等を提供する空間や演出を含めた観光客を迎えるための取組。おもてなしについては、サービスや心遣いなど観光客への最大限のおもてなしや、効果的な情報発信、多様な資源を活かした観光コンテンツの造成なども含む。</p>
(A委員)	<p>防府市には宿泊施設が少ない。また、宿泊者は観光客よりビジネスマンが多いと感じるが、宿泊観光ではなく、滞在時間の長時間化を目指しておられるのか。</p>
(事務局)	<p>防府はビジネスホテルが多く、稼働率も高い。宿泊者もビジネスマンが中心と認識している。観光目的が温泉ではなく観光地や食の場合は、先ほどの赤い風船で紹介しているホテル等を利用しておられるものの、本市は通過型の観光地であるため、滞在時間が長くなるようPRやコンテンツ造成を行っている。</p>
(B委員)	<p>KPIについて、今日の説明では、それぞれに対して目標値が見えにくかったのが一点。</p> <p>もう一点が、広域連携と赤い風船の防府市単独というのが反対のこのように感じる。</p> <p>また、P2の海外からの旅行はどこが企画されるのか。</p>
(事務局)	<p>まず目標値については、例えば先ほど説明したバス旅行の助成では予算額以上の効果を目指しており、約1.2倍の効果がでています。</p> <p>広域事業と防府市単体での誘客については、単体で売り込む効果により、広域事業の中でも防府に来ていただきやすくなるかと考えています。</p> <p>P2の旅行は旅行会社が企画される。</p>
(会長)	<p>団体旅行助成の効果が1.2倍と言われたがどのように算出したのか。</p>
(事務局)	<p>旅行会社からの報告人数をもとに、施設への入館料を計算している。また、お土産単価を1,500円で換算しており、宿泊を伴う場合は、宿泊代及び食事代を集計し算出している。</p>

(C委員)	<p>コンベンション協会の取組として、この度のバス助成に山頭火ふるさと館のプレゼント券と一緒に配布したことにより、ふるさと館の方の入場者がかなり増えており、目に見えない効果もあると考えている。</p>
(D委員)	<p>バス助成の件については受注型、募集型の両方をカバーされているが、それぞれの内訳や日帰り、宿泊、それぞれ発地がどのエリアからなのか、分かる範囲で教えてほしい。</p> <p>もう一点、最近都市部を中心に1人旅が増えている。また、温泉目的でない方はホテルにステイされるパターンも増えている。泊食分離で宿泊はホテルを使用し、ちょっと贅沢に食事を楽しむようなニーズも以前に比べれば増えてきている。このような層の取り込みも期待している。</p>
(事務局)	<p>データは収集しているものの、手元にないため、申し訳ないがこの場で答えできない。日帰りと宿泊では日帰りが多い。発地については、日帰り旅行ができるエリアの九州、広島近辺が多い。</p>
(A委員)	<p>団体旅行助成について、立ち寄り条件は主要4施設であるが、英雲荘なども入れると良いと思うが。</p>
(事務局)	<p>まずは、主要4施設を中心とした事業を組み立てた。英雲荘についても体験や催しを行っていくこととしているので、様々な意見をいただきながら検討していく。</p>
(B委員)	<p>主要4施設の観光客数を把握しているのか。そのような主要施設の観光客数も指標の中に入れるとわかりやすい。</p>
(事務局)	<p>毛利氏庭園、毛利博物館は前年比2割増。 韓国の団体ツアーも入りインバウンドも順調。その他の施設も増加傾向。</p>
(E委員)	<p>赤い風船で防府に来られた方が、塩田公園などの離れた観光地へ行くための方法や飲食店の掲載件数も少ない。ビジネスの人は便利と思ってまた使うかもしれないが、観光で来た人に分かりやすい観光ルートを示すことでリピーターが増えるのではないか。</p> <p>瑞風の立ち寄りは画期的なことで、今後定期的に止まるのかの見通しや毛利邸以外にも立ち寄るのかを教えてほしい。</p>
(事務局)	<p>赤い風船パンフレットの中で自転車観光のするモデルコースを紹介している。自転車以外の交通手段も今後紹介していきたい。</p> <p>瑞風については、来年の秋、9月から11月頃から立ち寄りを開始する。立ち寄り地は毛利邸のみ。なお立ち寄りを通じて他の観光地にも効果を波及させていきたい。</p>

(F 委員)	<p>高校生とのイベントをたくさん行っている。今後は、小学生まで幅を広げることで、親御さんとか兄弟も含めて盛り上げたらもっと賑やかなイベントになるのではと考えている。</p> <p>ガイド研修については、知識や技術に加えて違う視点の研修で勉強になっている。これを市の新人職員も参加されたら良いのではと感じる。</p>
(事務局)	<p>幅広い世代を交えたイベントなど今後検討していきたい。</p> <p>ガイド研修について、ご意見いただいたように市の新人職員も同様の研修を行っており、おもてなしも含めて取り組んでいるところ。</p>
(G 委員)	<p>重要業績評価指標、K P I について、目標に対して今までどのような活動をやってきて、その成果がどうだったのか、結果がどうだったのか、それをしっかり分析し、反省しながら次の施策を展開したほうが良い。施策を実施されているのは分かるが、それがどこの指標の何を押すための策なのか、今までやってきたこととどう違うのかを分析しないと次の成果に繋げるのは難しい。</p> <p>今後の提案として、他の先進事例にもあるように、コロナ後のこの時代に、最近のトレンドなども参考に観光誘客に取り組む必要があるのでは。防府市には空き家も多いので、改装し宿泊施設に充てていく、また、体験イベントであれば、海の近さを活かした漁業や釣りの体験をして、自分が釣った魚を晩御飯として居酒屋で提供されるとか、風呂も地場の銭湯を使うとか、市が持っているポテンシャルを上手に使いながら取り込まれている今風な事例なども参考にしていきたい。</p> <p>今ご紹介いただいた観光ツアーとうまく組み合わせながら、指標を達成するために、どう戦略を立て、実行していくか、そこを本当に、もうちょっと見える化をしながら進めていけば良いと思う。</p> <p>ぜひ一緒に考えながら、進めさせていただければと思う。</p>
(事務局)	<p>ちょうどこの計画ができたのが、コロナに入った年ということもあり、思いどおりに事業が出来ないということもあった。その中で取り組みは続けていたが、コロナも明けたので、取組を検証し、次の成果に繋げていきたい。</p> <p>また、市が持つポテンシャルを生かした取り組みについて、今までの防府の観光は歴史的資源を見るだけというところが多かったが、付加価値をつけるため体験コンテンツを造成するというのは非常に大事なことだと思っている。ご意見を参考に取り組みを進めていきたい。</p>
(B 委員)	<p>防府市は産業も盛んなので工場見学なども含めて、歴史と新しいものを融合させる取組もおもしろいのでは。</p>

(事務局)	他市においても、産業ツアーなどをやられているところもあるので参考にしながら検討していきたい。
(H委員)	<p>旧国道2号線の歩道橋工事に併せて、歩道橋を、赤を基調とした色にする と防府天満宮や祐徳稲荷のイメージと融合しインパクトがあると意見した が、難しいということで残念に思っている。</p> <p>また、今年度、花神子社参道を地元のFMわっしょいで2時間生放送でや ったが、内容がよかったという意見が多かった。</p> <p>そういったものや、今年の御神幸祭も含め、防府市のどこで何をしている のかという情報発信が必要。</p>
(事務局)	<p>防府天満宮や祐徳稲荷、らんかん橋も赤のイメージが強いと思う。いろい ろなアイデアを今後の参考にしていきたい。</p> <p>また、情報発信については、市民の方にもしっかり行っていかなければなら ない。工夫して情報発信を行っていく。</p>
(I委員)	<p>しっかり情報発信されていると思うが、他力本願ながら観光に来た人に発 信してもらうということも効果的。観光客が感じる付加価値もついてくる。 今回の瑞風も情報発信の絶好のチャンス。「瑞風が立ち寄ったまち、防府」 というだけで発信力はすごく強化される。しっかりと関係団体で進めてい く必要がある。</p> <p>インバウンドについて、先般東北に行った際に、神社仏閣というのはやは りアジア圏の人が多く、欧米の方は少なく感じた。</p> <p>しかし広島サミットでは欧米の方も多く、話を聞いてみると、やはり平 和記念公園や桜を見に来たという答え。今何が求められているかと先ほど もお話があったが、そういうところをしっかりと見据えて、観光商品作るの も大事。</p>
(事務局)	<p>観光客の方にもしっかり情報発信していただけるよう、魅力あるコンテン ツを造成していくような取り組みも重要と認識している。</p> <p>瑞風については、毛利邸だけではなく、その他の施設への波及なども考え ていかなければいけない。</p> <p>しっかりと関係団体とも協力して取り組んでいきたい。</p> <p>インバウンドについて、観光庁より7月から9月までの速報が出ていたが、 アジア圏からの旅行者が半数以上を占めていた。オーバーツーリズムが問 題になっている観光地もあるが、先ほどご説明したように毛利邸に韓国か らの問い合わせが増えている状況もあるため、アジア圏の市場に向けてプ ロモーションを行い、誘客に繋げていきたい。</p>
(E委員)	防府には歴史以外にも、自然も豊富なので、新たな観光資源として活用で きないか。

<p>(事務局)</p>	<p>また、すごいぞ防府のイベントでは、国分寺の前は歩行者天国になっているが、国分寺から毛利邸までも歩行者天国するともっと周遊しやすくなるのでは。</p> <p>先週、右田の登山口駐車場は満車だった。登山の人気は高いと感じており、自然にプラスして歴史、観光資源にプラスして自然などの組み合わせも考えていきたい。</p> <p>すごいぞ防府イベントについては交通規制の関係とかもあるのかなと思っているが、できるだけ賑わいが増すような取り組みになるような形で検討もしていきたい。</p>
<p>(C委員)</p>	<p>秋の大イベントの実行委員長をしているが、今言われた区間を歩行者天国にするのは我々も悲願。しかし、なかなか交通を遮断してやるというまでの許可がおりない。</p> <p>なお、今年のすごいぞ秋の大イベントも、4施設を周遊する仕掛けを用意しているので、ぜひお越しいただきたい。会長の加藤先生にも協力いただき、山大生にも企画していただいた。最終的に先生の得意分野の統計や、イベントの評価というものも出てくる。</p>
<p>(会長)</p>	<p>ありがとうございます。私も来週末楽しみにしている。</p> <p>委員の皆様どうもありがとうございました。</p> <p>それでは全ての議事を終了したので事務局にお返しする。本日の議事進行にご協力をいただき感謝する。</p>
<p>3 閉会</p>	